

【警告】

機器の動作範囲内に人及び物、又は手や指が無いことを必ず確認すること。[挟み込みによる怪我の防止]

*【禁忌・禁止】

〈使用方法〉

当社及びタカラ Belmont 製以外の装置や付属品については、取扱説明書や添付文書等で安全性・有効性を確認できない場合は、本製品に取り付けて使用しないこと。[安全性が保証できないため]

**

*【形状・構造及び原理等】

1) 作動原理

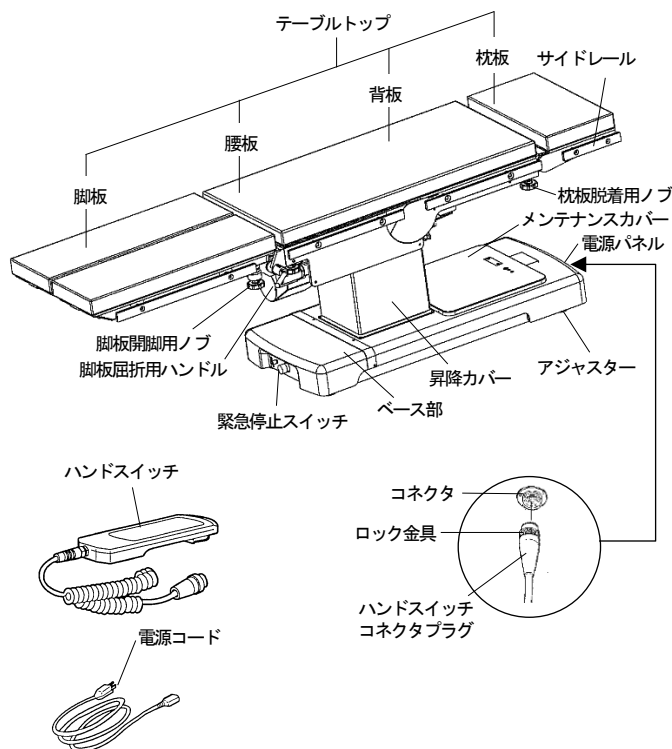
本機は、ハンドスイッチ操作により、油圧機構が働き、本体昇降、本体縦転、本体横転、背板（腰板）、昇降、本体上部スライド、アジャスターの各部位を制御範囲内で作動させることができる。

脚板屈折、脚板開脚、及び枕板屈折に関しては、手動にてハンドル、レバー、ノブ等を解除・固定することで所定の位置に調整することができる。

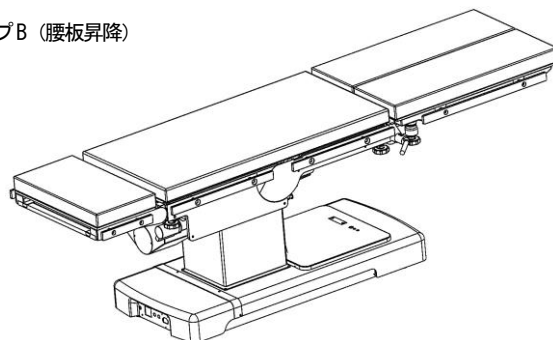
2) 外観図

DR-8800-1 DR-8800-K1 DR-8800N-1 DR-8800N-K1 DR-8800V-1
DR-8800V-K1

タイプ A (標準仕様 背板昇降)

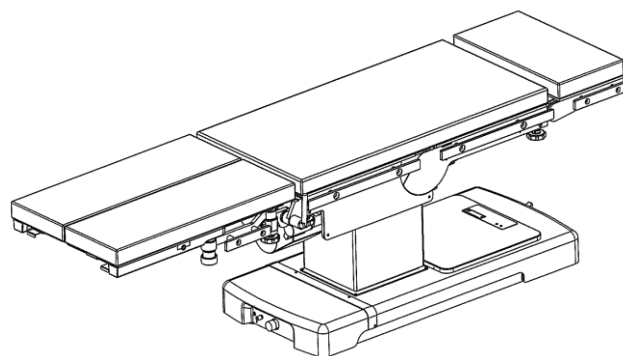


タイプ B (腰板昇降)

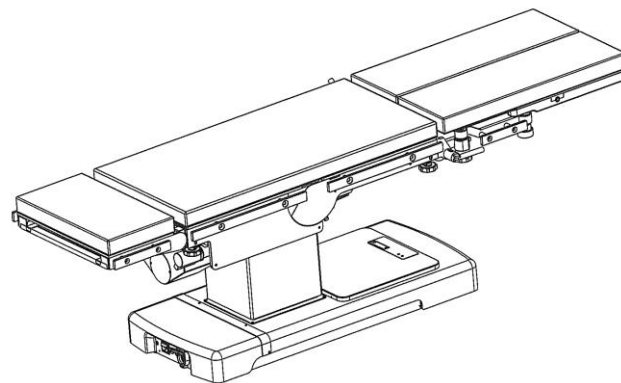


DR-8800-2 DR-8800-K2 DR-8800N-2 DR-8800N-K2 DR-8800V-2
DR-8800V-K2

タイプ A (標準仕様 背板昇降)



タイプ B (腰板昇降)



3) 機器の分類

J I S T O 6 0 1 - 1 による分類は以下の通りである。

- ①電撃に対する保護の形式による分類 : クラス I 機器
- ②電撃に対する保護の程度による装着部の分類 : B 形装着部
(テーブルトップのクッション)

4) 電氣的定格

- ①定格電源電圧 : AC100V
- ②周波数 : 50/60Hz
- ③電源入力 : 6.0A
- ④電源電圧範囲 : 定格 $\pm$ 10%
- ⑤作動モード : 非連続作動 最大 7 分 Duty サイクル 1:20

本製品には取扱説明書がありますので、必ず確認してください。

*〈動作保証条件〉

下記の条件にて使用すること。（ただし、結露しないこと）

周囲温度：10～40℃

相対湿度：30～75%

気 圧：700～1060hPa

【使用目的又は効果】

本機は、一般外科等における手術台として使用する。

**

*【使用方法等】

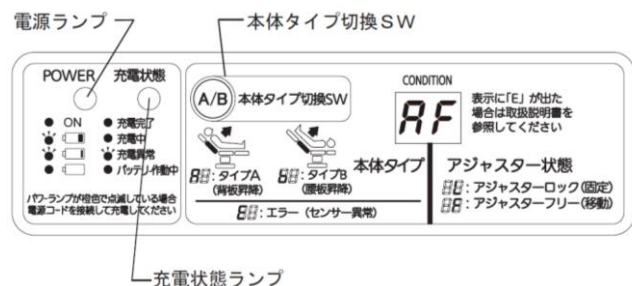
〈設置方法〉

機器の詳細な設置方法は付属の設置説明書に従うこと。

〈使用方法〉

機器の詳細な使用方法是付属の取扱説明書を使用前に必ず読むこと。

充電・電源ランプ状態表示部の説明

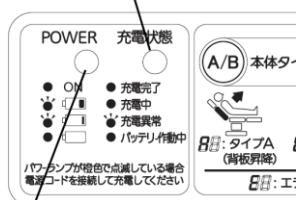


充電状態ランプ（バッテリー使用時は点灯しません。）

緑色点灯：フル充電

橙色※点灯：充電中

橙色※点滅：充電器又はバッテリー異常



電源ランプ

緑色点灯：バッテリー使用可

緑色点滅：要充電

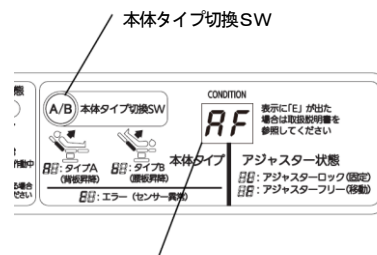
橙色※点滅：至急充電

橙色※点灯：使用不可

消 灯：電源OFF

※製造時期により、橙色ではなく赤色の製品もあります。

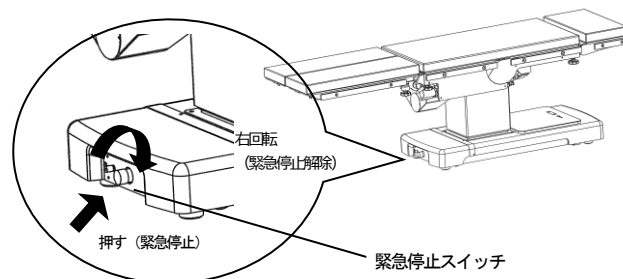
本体タイプ表示部の説明



切替中の表示は以下の通り。

- ・タイプA：アジャスターロックの場合・・・「AL」
：アジャスターフリーの場合・・・「AF」
- ・タイプB：アジャスターロックの場合・・・「bL」
：アジャスターフリーの場合・・・「bF」

緊急停止スイッチの説明



- ①手術台に異常が発生し、緊急停止する必要がある場合には、緊急停止スイッチを押すことで、本体の電源を切ることが出来ます。
- ②復帰させる場合は、緊急停止スイッチを右方向に廻すことで、回復します。

※使用方法につきましては、付属の取扱説明書をお読みください。

*【使用上の注意】

〈重要な基本的注意〉

- ①他の医用電気機器（電気メス等）と併用する場合、電磁的影響による不正確な動作が発生することがないか使用前に確認すること。
- ②患者の体位を保持する場合は、常に患者の状態を監視すること。
[長時間体位を固定すると患者に障害がおこるおそれがあります。]
- ③体重が 225kg 以上の人は乗せないこと。[荷重条件により本体が作動しない場合があります。]
- ④電源コードやハンドスイッチのコードをベース部に置かないでください。テーブルトップを下降させるときに昇降力バーに挟んでしまい、断線、ショートによる感電や発火の原因になります。[絶縁不良による漏電・火災のおそれがあります。]
- ⑤本体の枕板、脚板がタイプA（背板昇降タイプ）かタイプB（腰板昇降タイプ）かを使用前に常に確認し、本体タイプ切換SWで、タイプが同じになるように設定してください。[設定が異なると、ハンドスイッチの操作が逆になり、施術に支障をきたすおそれがあります。]
- ⑥操作前に各部ハンドル・ノブは必ず確実に締め付けて、脚板、枕板が確実に取り付いた状態確か抜けを確認すること。

と。[脱着防止]

- ⑦ハンドスイッチのコネクタプラグをコネクタに差し込んだ後は、ロック金具を回して締め付けてください。[ロック金具を締め付けていないとプラグが抜け、誤作動の原因になります]
- ⑧本体の移動と、固定のスイッチは共用なので、操作前にはアジャスターの状態を目視及び状態表示部で確認すること。[アジャスターがフリー状態のままでは、機器が不意に動き事故の原因になります]
- ⑨脚枠の屈折と開脚のギヤー（ギザギザの山）が正確に噛合っていることを確認すること。[脚板のギヤーが正確に噛合っていない状態で締め付けられたまま、患者を乗せるとギヤーが外れてしまい、脚板が動くおそれがあります。]
- ⑩枕板を操作するときは、患者の頭の重さを考えて両手で慎重に操作してください。[枕板は、非常に軽く動きますので急激に下側へ折り曲がり思わぬ事故の原因になります。]
- ⑪枕板部に 10kg を超える負荷を加えないこと。[重量により、操作者が支えられず急激に下側へ折り曲がり思わぬ事故の原因になります。]
- ⑫脚板屈折用ハンドルをゆるめる時は、必ず脚板を支えながらゆるめてください。[脚板の支えなしでは脚板が急激に折れ曲がり足や手を挟み、けがや破損するおそれがあります。]
- ⑬以下の操作は動作する部位を目視で確認しながら行ってください。[先端が床やベース部に当たり破損するおそれがあります]
- ・縦転角度最大までの下降
 - ・背板（腰板）、枕板、脚板を下降させた状態での縦転
 - ・テーブルトップを縦転させた状態での背板（腰板）の下降
 - ・脚板 90° の屈折
 - ・脚板を屈折させた状態での腰板下降
 - ・テーブルトップが最下位付近での V ポジション、ジャックナイフポジションへの移動
- その他、詳細については取扱説明書をご確認ください。
- ⑭テーブルトップの端に腰掛けたり、過度の荷重をかけたりしないこと。[故障や転倒の原因となります]
- ⑮お手入れは取扱説明書に従って実施すること。

【保管方法及び有効期間等】

〈耐用期間〉

- ・本機の耐用期間は 10 年です。（自己認証（当社データ）による）

※正規の使用方法、保守点検、消耗品などの交換を行った場合に限る。

- ・クッション部品、及びスイッチ類は使用環境によって異なります。

*【保守・点検に係る事項】

詳細については取扱説明書の「保守点検」の項を使用前に必ずお読みください。

使用者による保守点検事項(日常点検)

点検頻度	点検内容
使用前	設置状況の確認
	外観状況の確認
	オイル漏れの確認
	作動状況の確認
	枕板のツメが確実にギヤーに挿入され、状態を確実に保持出来ること
	作動中に異音、振動、異臭等していないことの確認
	緊急停止スイッチが正常に働くことの確認

*業者による保守点検事項

1 年ごとの業者による保守点検を実施するときは、当社または当社の指定する業者、若しくは修理業者などの適切な有資格者に依頼すること。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者

タカラメディカル株式会社

TEL : 06-6499-3461